

新卒採用方法提案へ

神戸JC企画 学生が議論



ワークショップで自己紹介する学生ら
＝神戸市中央区下山手通2

は、実際の採用活動に取り入れるという。

初日のこの日は、学生らが自己紹介などで交流を深めた。次回は食品会社やホテルなど県内約20社の人事担当者を招き、求める人材や課題を聞き取る。

参加した神戸芸術工科大3年の野口来未(くみ)さん(21)＝神戸市灘区＝は「企業に採用方法を提案できる貴重な機会。学生ならではの視点を生かしたい」と意欲的だった。

同会議所の村上豪英(たけひこ)理事長(39)は「新たな発想を神戸から発信し、多様な人材が集まる街にした」と話した。(井垣和子)

神戸青年会議所(JC)は7日、企業の新卒採用方法について、採用される側の学生に新しいアイデアを提案してもらおうワークショップを神戸市内で始めた。就職活動は依然厳しいが、求人難やミスマッチなど企業側の悩

みも多く、学生の意見から打開策を探ろうと初めて企画した。県内11大学の1〜4年生約40人が参加。9月まで計3回開催し、10月に学生が考えた採用方法を企業の担当者に発表する。良いアイデアが

出れば、就職活動は依然厳しいが、求人難やミスマッチなど企業側の悩